

津山高校

第9号



関東同窓会だより

総会報告、懇親会、作品展、津山高校ニュース、
お世話になりました！、活躍する卒業生たち、
寄稿、作州のニュース、おしらせ、
同窓会役員・常任委員一覧、事務局だより

<http://tsukou-kanto.com>

QRコード



総会 2023

岡山県立津山高等学校関東同窓会
2023年度 総会・懇親会

日時：2023年9月2日(土)
12時～14時30分

場所：明治記念館

参加者：136名

式次第

【総会】

- 1.開会あいさつ
- 2.第一号議案 会則の改定
- 3.第二号議案 2022年度活動報告
- 4.第三号議案 2022年度収支決算・会計監査報告
- 5.第四号議案 2023年度活動計画案
- 6.第五号議案 2023年度収支予算案

【懇親会】

- 開会あいさつ
来賓紹介・来賓あいさつ
乾杯
歓談
ゲストトーク
校歌斉唱・写真撮影

総会・懇親会のご報告

関東同窓会会長 中島 純三

令和5年度の第66回総会と懇親会は、9月2日(土)に明治記念館で開催されました。第1号から第5号までの議案の表決方法は、昨年度と同様に、議案書を会員全員にお送りして、ハガキまたはホームページ上で表決していただく方法を取りました。表決結果は、賛成298票、白票15票で、全議案が承認されました。議決へのご参加ありがとうございました。

懇親会は、平成9年(48期)卒を主幹事とし、近い年代の皆さんからのサポートもいただき準備を進めました。80歳代から現役大学生まで幅広い年代の136名(お子様2人を含む)の方々のご参加を得て、賑やかで楽しい会となりました。ご来賓として、津山から林同輔同窓会長、滝澤浩三校長はじめ6名の方々にご参加いただき、ご挨拶いただきました。会場では、参加者分の丸テーブルと椅子が用意され、ビュッフェ形式ながら全員が着席して食事や懇談ができるようなセッティングとなりました。名札には、出身中学校や部活名も記入していただき、初対面でも会話の糸口がつかめるような配慮も行われました。また、ゲストトークとして数名の出席者からショートスピーチをしていただき、各分野の情報提供をしていただきました。例年と同じく、作品展示では、絵画、陶芸、書道、などの会員による力作の展示がありました。また、津山銘菓、関連書籍・グッズの販売も行いました。

会場でのスナップ写真を3～4ページに掲載していますので、懐かしい顔を探してみてください。そして、今年の懇親会でぜひお会いしましょう。お待ちしております。



2022年度決算報告・活動報告(2022年4月1日～2023年3月31日)

収入の部	
項目	金額
総会・懇親会費	1,105,000
年会費	725,000
ご祝儀	60,000
預金利息	13
協賛金	150,000
その他(寄付・活動支援金他)	550,000
年度実収入計	2,590,013
前年度繰越金	1,639,644
収入合計	4,229,657

支出の部	
項目	金額
総会・懇親会費用	1,528,050
会議費用	633,828
印刷費等	441,430
通信費等	371,634
ホームページ運営費	7,190
振込手数料(郵便振込)	51,689
受取人払い(返信ハガキ)	3,300
その他(その他)	107,434
年度実支出計	3,144,555
翌年度繰越金	1,085,102
支出合計	4,229,657

2022年度津山高校関東同窓会活動報告

- 04/09 オンライン常任委員会
- 05/15 新入生歓迎の集い
- 05/28 オンライン編集委員会(会報第7号第4回、初校校正作業)
- 05/31 会長・副会長会議
- 06/18 オンライン編集委員会(会報第7号第5回、再校校正作業)
- 07/02 オンライン拡大役員会
- 07/16 オンライン編集委員会(会報第7号第6回、三校校正作業)
- 08/08 総会議案書・懇親会案内・会報誌の発送
- 09/10 オンライン拡大役員会・常任委員会
- 09/24 編集委員会(会報第8号第1回)
- 10/15 総会・懇親会
- 11/17 会長・副会長会議
- 12/03 オンライン編集委員会(会報8号第2回)
- 01/14 拡大役員会・新年会
- 03/11 編集委員会(会報第8号第3回)

2023年度予算・活動計画(案)(2023年4月1日～2024年3月31日)

収入の部	
項目	金額
総会・懇親会費	1,300,000
年会費	750,000
ご祝儀	60,000
預金利息	10
協賛金	150,000
その他(寄付・活動支援金他)	500,000
年度収入合計	2,760,010

支出の部	
項目	金額
総会・懇親会費用	1,300,000
会議費用	300,000
印刷費等	450,000
通信費	350,000
ホームページ・SNS運営費	70,000
振込手数料(郵便振込)	30,000
受取人払い(返信ハガキ)	10,000
その他(その他)	100,000
年度支出合計	2,610,000

2023年度津山高校関東同窓会活動計画(案)

- 04/08 オンライン併用・常任委員会
- 05/06 オンライン編集委員会(会報8号第4回初校)
- 06/03 オンライン編集委員会(会報8号第5回再校)
- 06/03 新人歓迎会
- 06/24 編集委員会(会報8号第6回三校)
- 06/24 拡大役員会
- 8月下旬 編集委員会(会報第9号第1回)
- 09/02 総会懇親会
- 11月 会長・副会長会議
- 12月 編集委員会(会報第9号第2回)
- 1月 拡大役員会
- 3月 編集委員会(会報第9号第3回)

共同会長就任のごあいさつ

日下 ヤスユキ



プロフィール

1992年津山高校卒業。1997年米国デンバー大学ビジネスアドミニストレーション学士課程修了。1999年同校コンピュータインフォメーションシステム修士課程修了。アーサー・アンダーセンビジネスコンサルティングに入社。主に大手企業の業務設計・システム化計画・システム導入支援に従事。2012年よりアストロラボ株式会社を創業。小売・アパレル企業を中心に様々な業種のDX化支援を行う。

昨年末の役員会において、会則第10条の規定により中島純三会長と共同で会長に就任いたしました。若輩者ではございますが、津山高校関東同窓会の発展のため、精一杯取り組んでまいります。ご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

昨年度より役員の数も10名となり昭和44年卒から平成14年卒までの幅広い年代から選任され、約半数が女性となりました。本年度は東京大学4年生の垣内さんを中心に学生会も発足し、6月に開催した関東同窓会新人歓迎会に参加してくれた学生が学生会に参加してくれました。学生の時から関東同窓会に慣れ親しんでいただける環境作りの礎ができております。

日本経済の首都圏集中が進む一方で、昨今、津山高校の学生は卒業後に上京する数が年々減っていると伺っています。学生の人数が減っているという事実もありますが、私達のミッションとして関東圏で活躍することの魅力や楽しさを発信していく必要を強く感じています。

2022年に発足したゴルフ同好会は定期的で開催されるようになりました。今後も学年を超えて皆さまが集い親睦できる様々な同好会を発足させていきたいと考えております。皆様楽しんでいただける魅力ある同窓会を目指してまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

津山高校創立130周年・津山中学校創立10周年記念事業

津山高校は令和6年、創立130年目を迎えました。令和7年度に、津山高校創立130周年・津山中学校創立10周年記念事業を行う予定で、令和7年秋に記念式典等を実施する計画で準備が進められています。

岡山県立津山高等学校関東同窓会会則

(総則)

- 第1条 本会は、岡山県立津山高等学校関東同窓会と称し、略称として津山高等学校関東同窓会を用いる。本会の設立は、1958年5月26日である。
- 第2条 本会の所在地は、東京都豊島区池袋2・57・2である。
- 第3条 本会は、会員相互の親睦を図り、母校の発展に助力することを目的とする。
- 第4条 本会は、その目的を達成するために、次の事業を行う。
 - 一 総会・懇親会の開催。
 - 二 会報誌「津山高校関東同窓会だより」の発行。
 - 三 その他本会の目的達成に必要な事項。

(会員)

- 第5条 本会は、次の各号の者を会員として組織する。
 - 一 関東地域在住者で、岡山県立津山中学校・同津山高等女学校・同津山成美高等学校・同津山高等学校の各学校を卒業した者、及び各学校に1年以上在籍し本会に入会を希望する者。
 - 二 関東以外の地域在住者で、岡山県立津山中学校・同津山高等女学校・同津山成美高等学校・同津山高等学校の各学校に1年以上在籍し本会に入会を希望する者。

第6条 本会の会員は、所定の会費(2,000円)を納入するものとする。

第7条 本会の事業を妨げ、または本会の名誉を汚すような行為をした者は、役員会の決議によって除名することができる。

(役員・委員)

- 第8条 本会には、役員、専門委員及び常任委員をおく。
 - 一 役員
 - 会長及び副会長10名以内、会長(会長・共同会長)の定員は3名以内とする。事務局長 1名、 監事 2名
 - 二 専門委員
 - 専門委員会を構成する委員として選出し、役員会で承認される。
 - 三 常任委員
 - 原則として各期男女各1名ずつを各期で選出し、役員会で承認される。
- 第9条 会長、副会長、事務局長及び監事は、役員会が推薦し、総会の承認を経るものとする。
- 第10条 会長は本会を代表し、会務を統括する。副会長は会長を補佐し、会長に事故がある時は、副会長の内の1名が会長代行としてこれを代行する。また、会務の円滑な運営のために、必要に応じて副会長の内2名を共同会長に選ぶことができる。会長代行、共同会長の選出は、副会長の互選によるものとする。

第11条

- 一 本会は必要に応じて専門委員で構成される専門委員会(編集委員会、ホームページ委員会、総務委員会など)を設けることができる。各専門委員会の委員長は役員会によって指名された副会長が兼務する。
- 二 本会の総会及び懇親会などの企画・実行を担う当該年度総会開催担当幹事は、年次を追って引き継がれるものとし、役員会によって指名される。
- 三 本会は必要に応じて顧問をおくことができる。顧問は、役員会の推薦による。

第12条 役員、専門委員、常任委員及び顧問の任期は2年とし、重任を妨げない。

(会議)

- 第13条 本会の会議は、総会、役員会、専門委員会、拡大役員会及び常任委員会とする。
- 第14条 総会は年1回の通常総会と臨時総会とし、臨時総会は必要に応じて開く。
- 第15条 総会は会長が招集し、決議は出席者の過半数の同意によるものとする。決議には、書面あるいは電子的な方法を用いることができる。

第16条 総会は次の事項を承認または決議する。

- 一 事業計画及び収支予算の決議に関する事項。
- 二 前年度の事業報告及び収支決算の承認に関する事項。
- 三 会則の変更に関する事項。
- 四 役員を選任に関する事項。
- 五 その他役員会で必要と認められた事項。

第17条 役員会は、役員により構成され、必要に応じて会長が招集する。

第18条 拡大役員会は、総会及び懇親会の準備状況等を主要な議題とし、役員及び当該年度総会開催担当幹事により構成される。会議には関係する専門委員など役員会が指名するメンバーを加えることができ、必要に応じて会長が招集する。

第19条 常任委員会は、会務全般にわたる課題を主な課題とし、役員、専門委員、常任委員によって構成され、必要に応じて会長が招集する。

第20条 専門委員会は、任務とする課題への対処を主要な議題とし、必要に応じて各委員長が招集する。

(会計)

第21条 本会の経費は、会費・寄付金及びその他の収入をもってあてる。

第22条 本会の会計年度は4月1日より始まり、翌年3月31日に終わる。

(改正)

第23条 本会則の改正は、総会の決議により行う。

(付則)

- (1) 本会則は1958年5月26日より施行する。
- (2) 本会則は2008年6月14日より施行する。
- (3) 本会則は2010年9月11日より施行する。
- (4) 本会則は2012年9月29日より施行する。
- (5) 本会則は2016年9月24日より施行する。
- (6) 本会則は2018年9月29日より施行する。
- (7) 本会則は2022年10月15日より施行する。



津山弁はやっぱりええなー、あったかい!

大先輩も身近に感じる素敵な機会でした。

懐かしい方にお会いできました



コロナ明けに相応しい対面開催で、由緒ある明治記念館で、盛大な懇親会を開催することができた。この場をお借りして感謝をお伝えしたいと思



来賓：植月事務局長 瀬島教頭(現・副校長) 滝澤校長 林同窓会会長 山本副会長



学生の立場で大都会で活躍する諸先輩と交流出来て刺激になりました。



ここで結婚式を挙げた同期と15年ぶりぐらいに再会して楽しく話が出来ました。



できました。同期、先輩、後輩にも助けられて、役割を全うでき、良い思い出になりました。
思います。<第48期生(平9卒) 幹事一同>



平8・9卒の共同幹事のコラボが素晴らしかったです

馬場副会長

※ 吹き出しのコメントは関東同窓会の Facebook のページ等に寄せられた参加者のコメントから抜粋しております。

絵画・水墨画・水彩画・書道・陶芸等、同窓生の作品が展示されました。



片岡 廣治郎 (昭35卒)



寺坂 拓重 (昭35卒)



田淵 隆三 (昭35卒)

NHK 会友
中村 宏
 津山高校いざよう会 (11期)

昭和 35 年卒

一般社団法人 進化経営学院
 創設の辞
 逆境練機 転原自在
 経営進化 互惠共栄
 代表理事 **黒田悦司**
 〒 311-3508 茨城県行方市沖洲1543-10
 ☎ 0299-57-0377
 URL <http://rinen.gr.jp/>

昭和 37 年卒

空調周辺機器総合メーカー
UCAN. UCAN CO.,LTD.
 代表取締役 **安 藤 馨**
ユーキャン株式会社 加温器、全熱交換器、ドレン処理機
 本社
 〒193-0832 東京都八王子市敷田町5-6-19
 TEL042-665-8846 FAX042-661-3887
 (携帯電話 090-3192-2631)
 URL <http://www.ucan.co.jp/> E-mail: i_ando@ucan.co.jp

昭和 39 年卒



岡本 玲子 (昭36卒)



松井 揚水 (昭46卒)



早瀬 祐里 (昭63卒)



水田 潤子 (昭46卒)



小原 香藍 (昭48卒)



松本 魔理子 (昭48卒)



松本 mariko (昭48卒)



河本 倫子 (昭54卒)

作者名 (雅号)	卒業年	種 別
片岡 廣治郎	昭 35	陶芸
寺坂 拓垂	昭 35	陶芸
田淵 隆三	昭 35	油絵
岡本 玲子	昭 36	油絵 花言葉「暖かい友情」 油絵 模写「真珠の耳飾りの少女」
松井 陽子 (陽水)	昭 46	水墨画 「儂光」

作者名 (雅号)	卒業年	種 別
水田 潤子	昭 46	「ある日の入り江」
小原 幸恵 (香藍)	昭 48	書道 「無一物中無尽蔵、 花有り月有り楼台有り」 蘇東坡
松本 真理子 (魔理子)	昭 48	絵画「A.D.」 絵画「A.A.」
松本 真理子 (mariko)	昭 48	絵画「水面に遊ぶ精霊と人型」
河本 倫子	昭 54	絵画「雨奇晴好」
早瀬 有里	昭 63	不透明水彩画「サマームーン」

カフェ・バー
GORI

藤本 宣
礼子
東京都新宿区新宿 1-17-11 大洋ビル 1F
TEL. 03-3353-1294

昭和 41 年卒

東海大学学園校友会

会長 後藤 俊郎

〒151-8677
東京都渋谷区富ヶ谷二丁目10番2号
TEL 03-3467-2211 (代表)
Mobile 090-9974-7496
E-mail gon@tokai.ac.jp

昭和 41 年卒

中島農園

代表 中島 純三

メール: jnhk2050@live.jp

昭和 42 年卒

岡山県立津山高等学校 校長 滝澤 浩三

令和5年度より本校校長を務めさせていただいております滝澤です。どうぞよろしくおねがいします。本校は平成27年に津山中学校を開校し、中学生は1学年2クラス、高校生は1学年6クラスで中高併せて約千名の生徒と一緒に学んでいます。また平成24年度に文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定を受け、第Ⅲ期目の指定期間5年間の第3年次の研究を行っているところです。

中学校は、この春10期生を迎えることとなりました。また、津山高校は今年で創立130年目を迎えております。令和7年度に、津山高校創立130周年・津山中学校創立10周年記念事業を行う予定で、今年の3月に準備会を開催し、令和7年秋に記念式典等を実施する計画で準備を進めているところです。同時に、施設設備の充実事業として、視聴覚教室の整備を計画しております。視聴覚教室にICT機器を整備し、探究型の教育環境を整えることにより、課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びを充実させたいと考えておりますので、同窓会の皆様方にもご協力をいただければ幸いです。



最後になりましたが、津山高校関東同窓会のさらなる御発展と、会員の皆様の益々の御健勝を祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。

令和5年度 関東を中心とした主要大学合格者数

国公立	東北	茨城	群馬	埼玉	千葉	東京 外国語	一橋	横浜 国立	富山	金沢	岐阜	静岡	愛知 教育	名古屋	滋賀	京都 教育	京都工芸 繊維	大阪	大阪 教育	神戸	兵庫 教育	奈良 女子	和歌山	鳥取	島根	岡山
	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1	2	3	1	1	1	1	1	4	1	3	1	1	2	19	15	37
	広島	山口	徳島	香川	愛媛	九州	宮崎	神奈川 保健福祉	都留 文科	名古屋 市立	京都 府立	大阪 公立	神戸市 看護	兵庫 県立	島根 県立	岡山 県立	広島 市立	山口 東京理科	下関 市立	山口 県立	高知 県立	福岡 県立	名桜	国公立 合計		
4	3	9	12	3	4	1	1	1	2	1	1	2	1	3	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	164	

私立	北海道 科学	日本 医療	跡見学園 女子	了徳寺	青山 学院	共立 女子	慶應 義塾	工学院	駒沢	上智	成城	専修	拓殖	中央	東京 工科	東京 理科	東洋	日本	法政	明治	立教	早稲田	神奈川	鎌倉 女子	金沢 工業	朝日
	2	3	1	2	2	2	2	1	2	1	4	1	1	2	4	1	2	1	1	2	2	8	1	1	2	1
	静岡 福祉	愛知 学院	藤田 医科	成安 造形	京都 産業	京都 女子	京都橋	京都 薬科	同志社	同志社 女子	佛教	立命館	龍谷	京都 医療科学	大阪 医科薬科	大阪 経済	大阪 工業	大阪 産業	関西	関西 医科	関西 外国語	近畿	四天王寺	摂南	大和	大手前
2	4	3	2	29	9	7	4	16	3	4	30	26	1	4	3	9	2	18	1	3	43	4	3	5	1	

準大学	防衛	海上 保安	準大学 合計
	1	1	2

準大学	関西 学院	甲南	神戸 学院	神戸 薬科	兵庫 医科	武庫川 女子	関西 福祉	岡山 理科	川崎 医療福祉	吉備 国際	倉敷 芸術科学	就実	清心 女子	美作	広島 工業	福山	広島 国際	徳島 文理	松山	私立 合計
	38	7	11	2	2	3	3	23	14	3	1	22	17	6	3	3	4	3	2	455

短期 大学	白鷲 短期	私立短大 合計
	1	1

専門学校 等	履正社国際 医療スポーツ	玉野 総合医療	岡山 済生会看護	岡山 医療看護	大阪 医療看護	清恵会 医療	大阪病院 協会看護	中国四国 酪農大	専門学校等 合計
	1	1	2	2	1	1	1	1	10

IDR The Institute of Marketing & Distribution Research
アイディーアール

一般社団法人 流通問題研究協会

(社)流通問題研究協会 副会長
青山学院大学 名誉教授
三村 優美子

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8
機械振興会館4F
Tel : 03(3436)1686
Fax : 03(3436)1690
E-mail : mykayama987@sweet.ocn.ne.jp
http : //www.idr.or.jp/

小林・福井法律事務所

弁護士
小林 元治

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目12番6号
コアロード西新宿203号
TEL : 03-3343-6088 (代表)
FAX : 03-3343-3395
E-mail : m.kobayashi@kobafuku-law.jp
URL : http://www.kobafuku-law.jp

美作三湯・奥津温泉

名泉鍵湯 **奥津荘**

女将 **鈴木和枝**

〒708-0503 岡山県苫田郡鏡野町奥津48
電話 (0868) 52-0021
FAX (0868) 52-0608
http://okutsuso.com
E-mail info@okutsuso.com

『第二の母校』

佐藤 朋信 氏



プロフィール

- 1985年 津山市生まれ
- 2004年 倉敷青陵高校卒業
- 2008年 筑波大学体育専門学群卒業
- 2010～15年 津山高校勤務
- 2015～20年 玉野商工高校勤務
- 2020年～ 倉敷青陵高校勤務

保健体育科教諭としての初任校が津山高校でした。非常勤で勤務していた高校の校長から、『津山高校に決まったぞ』と言われた時は、【運命】以外の文字が浮かんでできませんでした。というのも、私の母、そして母方の祖父母は、津山高校の出身だったからです。もう少し詳細を語らせていただければ、祖父母が切り盛りしていた飲食店は、『安兵衛』という名の中華そば屋でした。椿高下に約35年前まで存在していたその店に、親しみを感じるOBの方々もいらっしゃるかもしれません。

部活動はバスケットボール部を担当し、授業やクラス経営を含め、とても情熱的な日々を過ごしました。津山の夏はとても暑く、熱中症と闘いながらバスケや十六夜祭に向けての準備・練習に付き合いました。その暑さに負けないくらい、生徒、教員共に熱く本番に臨みました。冬の津山はもっと過酷で、雪が積もれば終わりの見えない雪かき、真っ暗なグラウンドで年末のラグビー大会に向けての練習、痛いような寒さに耐えながらの体育授業など、数々の思い出があります。極寒の中、同僚たちと何軒も赤提灯を渡り歩いた長い夜（終わる頃には夜明け）もありました。十六夜寮・なでしこ寮で食事や勉強を共にする寮生の姿も忘れられません。卒業式はいつも厳粛かつ壮大で、司会席から聴く大地讃頌や校歌には、感動することしかできませんでした。

現在よりももっと未熟な私でしたが、素朴で可愛らしい生徒たちや、若造の私を優しく受け入れてくださった保護者の方々、そして優秀な教職員の方々に恵まれ、様々な面で成長させていただきました。現在40歳目前となりましたが、教員という仕事の楽しさ、苦しさ、面白さは、津山高校で学ばせていただいたと確信しております。

この度、津山高校OBではない私に、寄稿のご依頼をくださった方々にも感謝申し上げます。既述の通り津山高校に縁が深く、そして津山高校が大好きな私なので、母校への手紙のつもりで綴らせていただきました。

最後になりましたが、津山高校の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。



(上)旧校舎と新校舎 (下)新校舎風景

かふえ花音
江田実子
〒708-0046 津山市西今町 64 tel.0868-35-2919
8:00~18:00(水曜日休み)



昭和 48 年卒

代表取締役会長
OTSUKI TAKAYUKI
大月 隆行
ランデス株式会社
本社/岡山県真庭市開田630-1 〒719-3192
TEL 0867-52-1141(代) FAX 0867-52-3515
https://www.landes.co.jp
e-mail:t-otsuki@landes.co.jp



昭和 48 年卒

社会福祉法人 江原恵明会
理事長
江原 秀国
〒708-0884 岡山県津山市津山口 306
TEL:0868-23-2738

昭和 49 年卒

津山ではじめてのサクソフォン

安川 信彦 氏

(平成11年卒)



プロフィール

- 1980年 石川県金沢市生まれ
津山市二宮育ち
津山市立向陽小学校 卒業
津山市立西中学校 卒業
- 1999年 津山高校卒業 (50期、吹奏楽部)
- 2003年 国立音楽大学音楽学部器楽科卒業
- 2006年 渡米、ボストンやニューヨークで武者修行セッション
- 2011年 ドイツ・オーストリアでライブツアー
- 現在 フリーランスのジャズサクソフォン奏者として活動中

私はサクソフォン奏者として演奏や講師の活動をしています。津山高校の同窓生の皆様へ、私の活動のご報告と、その原点となった津山での思い出をご紹介させていただこうと思います。

主な音楽分野はジャズ・ポップラー音楽で、普段はライブハウス、コンサートホール、レコーディングやミュージカル伴奏、などで演奏しています。

最近の活動としては、日本のラテンジャズ界を代表する熱帯Jazz楽団というバンドで全国各地のコンサートに出演しています。関東では今夏8月13日のBluenote東京でライブがあります。

歌手の方のサポートでは桑田佳祐、GACKT、渡辺真知子、狩人、チェリッシュ、山本リンダ、小林旭、葛城ユキ、戸田恵子、大場久美子、伊藤咲子、ペ・ヨンジュン、芦田愛菜、夏川りみ、NORA、小野リサ、CHAKA (※敬称略) のテレビ収録やコンサートのサポートをおこないました。名探偵コナンシリーズの主題歌や、工藤静香さんのアルバム、JRの商業BGM等にも伴奏とソロで参加しています。

サクソフォン(サクソ)を吹き始めたのは、中学の吹奏楽部でした。それより小さい頃から、ジャズ好きだった父親に連れられて津山の邪美館というジャズ喫茶にライブを聴きにいたり、渡辺貞夫さん、MALTAさん、T-Squareなどのサクソの音色に憧れを持っていました。

入部後、運良くサクソパートを選ぶことはできましたが、女子の多い吹奏楽部の中で私が男子ということで、やや大型のテナー・サクソという、音域が低く、吹奏楽の中ではあまりメロディが出てこないやや地味な楽器を担当することになりました。渡辺貞夫さんの吹いているのは華やかなアルトだったので、その当時は少し残念だったように思いますが、テナーはJohn ColtraneやSonny Rollinsなどジャズで大活躍している楽器でもあり、今では私のメインの楽器になっています。中学ではコンクールに目掛けて

合宿をするような熱血の部活動でした。

その後、津山高校の吹奏楽部に入り、もう少しゆったりと幅広い視野で音楽に取り組む活動ができました。十六夜祭のライブステージに出たり、同じサクソパートの同級生の家でジャズの即興演奏(アドリブ)の勉強を一緒にしたり、合奏のない日はセッションをしたりと、今の活動の原点となっています。吹奏楽部顧問の秋山貴先生と園田哲郎先生には、音楽大学への進学もふくめ大変お世話になりました。

ちなみに、その同級生の彼(田原君)とは最近でも津山でセッションライブをしたりと繋がりが続いています。津山市役所の職員をしながら音楽活動も精力的にしているようで心強いです。

楽器は練習をしたりステージで演奏するたびに達成感と新たな課題が見つかりとても面白いです。今後もより良い音楽を届けていきたいです。皆さまも機会があればサクソの音色に耳を傾けたり、街の教室のお試しレッスンなど気軽にチャレンジしてみてくださいと思います。



弁護士 野々上 尚

〒104-0031
東京都中央区京橋2-12-3
京橋センタービル6階
上田 廣一 法律事務所
TEL・FAX 03-6228-6440
E-mail t-nonoue@uk-lawgroup.jp

昭和49年卒

北海道三笠市達布 濱田ヴィンヤード
www.hamadavineyard.com

濱田 洋文

ワイナリー：三笠市達布 778-3 Les Vins de Tapcolline
自宅：〒068-2154 三笠市高美町 444-40
冬期宅：〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東 3-3-2-505
携帯：090-8370-9467
E-mail：info@hamadavineyard.com

昭和50年卒

額田・井口法律事務所

額田 洋一

NUKADA & IGUCHI Law Office

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 2-7-15
市ヶ谷クロスプレイス 6階
TEL：03-3267-3201 FAX：03-3267-3202

昭和50年卒

津山から日本、そして世界へ



プロダンサー 野村 直人氏 (平成24年卒)

プロフィール

1993年生まれ

2012年 津山高校卒業（63期）
大学で社交ダンスに出会い、大学の部活動にてダンスを始める

2016年 大学卒業後プロダンサーの道へ進む

2022年よりJBDF三大大会である

- *スーパージャパンカップ選抜選手権&セグエ選手権(ショーダンス)
- *文部科学大臣杯 JBDF全日本プロフェッショナルダンス選手権大会
- *日本インターナショナル選手権大会にて、優勝を果たし、
そして、国内で全団体が集まる最も大きな大会である統一全日本選手権にて
優勝(現在2連覇中)

現全日本ラテンアメリカンチャンピオン(日本代表)として、世界に挑戦している。

この度津山高校関東同窓会だよりに寄稿する事になりました、第63期生の野村直人です。津山高校を卒業後、大学で競技ダンスに出会い、その魅力に引き込まれ、現在はプロフェッショナルダンサーとして国内外の競技会に出場し、また普段はクワバラダンススクールで指導にあたりながら自己研鑽に励むという日々を過ごしています。感じた事考えている事を踊りで表現するのがダンサーですが、今回はそれらを文章にしてみたいと思います。

自身の事を説明する際、「競技ダンスをしている」と言うより「ああ競技ダンスね」となる事は殆どありません。一般認識としては「社交ダンス」としての方が受け入れられやすいです。競技ダンスというのは元々コミュニケーションツールとしての社交ダンスを、その芸術性や完成度によって順位を付けるという競技にしたものになります。社交ダンス全体の競技人口が日本全国で100万人なのに対し、競技ダンスの人口は3万2千人程です。ダンスを楽しむ為の社交ダンスに対して、3万人余りの人が取り組んでいる競技ダンスは一見優雅に見える社交ダンスといえども弱肉強食の勝負の世界です。

私自身はダンスパートナーである山崎かりんと昨年行われた日本一を決める全日本選手権大会ラテンアメリカン部門にて、二連覇を達成しました。今は全日本チャンピオンとして、海外の競技大会にも挑戦をしています。海外の競技会はレベルが高く、今現在世界でTop20位程に付けていますがここから先の壁の高さ、厚さを感じています。その中でも絶対に諦めず、この世界で最後まで闘い抜いて勝利を手に掴むという情熱を日々燃やして続けています。

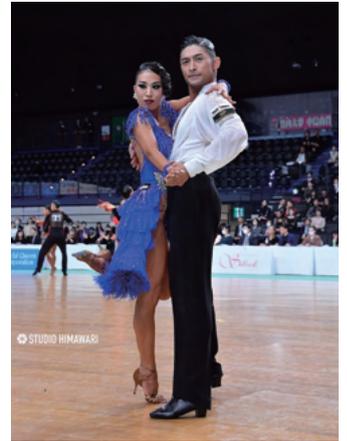
競技ダンスをする上で何より難しいことは、楽しみながら社交の輪を広げる社交ダンスに対して、競技ダンスはパートナーとチームとして高みを目指して踊る事にあります。長くともに練習してきているパートナーといえども物事を進めるプロセスや、目的、価値観等が異なってしまう、すれ違いや衝突をしてしまう事もあります。当然、私達もここに至るまで

にそういった失敗を多く経験してきました。相手を理解する為にまずは自己を認識し、そして他者に敬意を持ちながら接する事で、同じ目標に向かっていくことができるということを経験から学びました。

現在、日本チャンピオンとして世界の頂点を目指して活動し続ける私の根底には津山市で育ったということが大きいと思っています。津山盆地には人情が溢れており、城山が見下ろす「今」と「昔」が交錯する独特な魅力があります。昨年、成人式以来10年ぶりに帰省をした

のですが、懐かしむというより新たな発見が多くありました。津山には東京の目まぐるしいような変化は無いのですが、高校生までの自分と密度の濃い10年間を過ごした私の感覚の違いからなのか、普遍的な歴史の痕跡が多くある津山に新しさを感じました。自分の感性が変わったことにより津山がこんなにも魅力的だったのかと驚きました。津山で育ったことで歴史を作るためには積み重ねること継続することが大切であると無意識に刷り込まれていたように思います。

僕を育ててくれたこの津山に何か恩返しをしたい!とずっと考えておりましたが、ダンス競技に没頭して駆け抜けた10年間はなにもできませんでした。この度、津山文化振興財団の事業として津山市にてダンスショーを開催する計画が進んでいます。私にとって、原点である津山で開催されるこのショーが私の人生にとって大きな意味を持つものとしてワクワクしています。この経験をさらなる成長の糧として、世界に挑戦しようと考えています。



HR
HAYASHI-REPIC

代表取締役副社長
山田 雅義

ハヤシレピック株式会社
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-28-3
Tel: 03-3918-5237 Fax: 03-3918-7326
E-mail: m-yamada@h-repic.co.jp
www.h-repic.co.jp

エコアクション21
EPA 0000270

昭和 53 年卒

作州会計
sakushu.jp

代表 税理士
松田 匡司
Masashi Matsuda

〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町1-6-7-1004
TEL/FAX 050-5873-9445
Email info@sakushu.jp

昭和 54 年卒

立教大学
RIKYO UNIVERSITY
JOCCLCXXVY

法学部教授
体育会剣道部長
博士(法学)
神橋 一彦
Kambashi Kazuhiko

Lead the Way

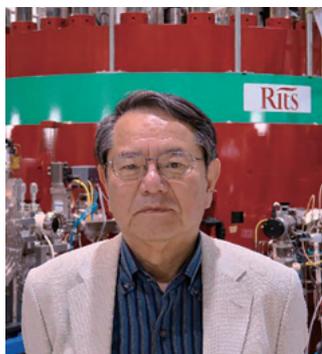
〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1
Tel. 03-3985-2542 Fax. 03-3983-0174
E-mail: kambashi-k@rikkyo.ac.jp

昭和 58 年卒

「私の履歴書」

太田 俊明 氏

(昭和37年卒)



プロフィール

- 1962年 岡山県立津山高校卒業
- 1966年 東京大学理学部化学科卒業
- 1971年 東京大学理学系大学院博士課程修了
- 1971年 東京大学理学部化学科助手
- 1978年 スタンフォード大学文部省在外研究員
- 1979年 高エネルギー物理学研究所助教授
- 1986年 広島大学理学部物性学科教授
- 1992年 東京大学理学部化学科教授
- 1993年 東京大学大学院理学系研究科教授
- 2006年 東京大学定年退官(東大名誉教授)
- 2006年 立命館大学特別招聘教授(SRセンター長)
- 2018年 立命館大学上席研究員(SRセンター顧問)(現職)
- 2024年 東北大学特命教授(客員)現在に至る

◀写真の背景は立命館大学SRセンターの超伝導電子加速器

私は、1943年久米郡大井和村(現 美咲町)の貧しい専業農家の3男として生まれた。今では限界集落になり小学校も中学校も廃校になっている。津山高校では将来の進路として漠然と研究者の道が向いているかなと考えていた。東大理Ⅱに入学し、理学部化学科に進学、大学院は物理化学の赤松秀雄研究室を選んだ。博士課程の修了時に赤松先生が退官され、後任に黒田晴雄先生が着任されたが、同時に助手に採用されることになった。X線光電子分光装置を製作し、それをを用いた物性研究が軌道に乗った頃、世界ではシンクロトロン放射(略して、放射光)と呼ばれる強力なX線光源が利用され始めていた。これは巨大な電子加速器から放射されるX線であり、従来のX線源よりも2~3桁強力なもので、物質科学、生命科学の新展開を可能にする、まさに「夢の光」であった。

我が国でも1973年頃から東大工学部の高良和武先生が中心になって放射光実験施設の建設計画が始まったが、予算も人員もスペースも膨大な計画の実現は簡単ではなかった。黒田先生と一緒に私もその建設計画に参加し、結局それが自分のライフワークになっていった。この「フォトン・ファクトリー」(PF)計画は総額200億円の当時では巨大なプロジェクトであったが、1978年、つくばの高エネルギー物理学研究所の付属施設として建設することが決まった。概算要求作成時から参加したので、建設完成までの約7年間は研究論文が殆ど書けなかった。ただ、啓蒙、広報活動を通じて幅広い分野の先生と知己を得たこと、また、先行するスタンフォード大学の加速器センターに1年間文部省在外研究員として出向させてもらい、貴重な経験と多くの人脈をつくることのできたことは幸いであった。

帰国後は、実験装置の設計製作に、そして1982年、装置が完成してからは昼夜関係なく利用実験に追われた。PFの成功は我が国の科学技術に大きなインパクトを与え、次々に新しい施設の建設計画が出てきた。実験が軌道に乗った頃、広島大学から放射光施設の建設計画を主導して欲しいとの声がかかった。助教授2人、助手2人、秘書のポストもつけ

るといふ破格の待遇で広島大学に移った。コンパクトな施設(それでも100億円近い)を設計し、学内の機運を盛り上げ、広島県の政財界に広報活動を行い、文部省に何度も陳情に行き、後一息のところまで行ったが、流石に一地方大学が巨大な放射光施設を建設することには無理があった。ただ、私にとって、優秀なスタッフや多くの学生と一緒につくばのPFで放射光利用研究を行い、且つ、安くて美味しい酒や魚を堪能できた広島大学時代が一番輝いていたかと思う。

計画が暗礁に乗り上げていた時、黒田先生の後任にと声がかかった。私にとっては思いもかけないことではあったが、1992年に古巣の東大理学部化学科の教授に着任した。当時、東大でも放射光計画を持っており、その旗振りとしても期待されていたのかと思う。東大での14年間は、学生達と放射光科学の研究に邁進し、多くの有為な後進を育てられたことは幸せであった。一方、新規放射光計画の推進や文科省の各種の委員業務、2つの国際ジャーナルのエディター、頻繁な国際会議での外国出張など、猛烈に忙しい毎日でもあった。

2006年62歳で定年退職時、立命館大学から声がかかった。老朽化したSRセンターを復活してくれとのこと。幸い、様々な予算を獲得でき、二次電池開発の長期巨大プロジェクトにも参画できたことで、大幅なScrap&Buildが可能になった。そして、他の放射光施設と比べても遜色のない設備が揃い、着任当初は考えられなかった質の高い論文を次々発表できるようになった。一方、私学は研究だけでなく、収益の獲得も重要な業務であるが、産業利用収入でも学内の稼ぎ頭になった。

着任時、任期3年の契約であったが、結局75歳まで13年間センター長を務めることになった。その後も上級研究員、センターの顧問として大学に通う毎日であるが、80歳になった現在、講演や本の執筆、アドバイザーなど、頼まれることはまだ必要とされている証と考えて原則引き受けている。暫くは忙しい日が続きそうである。

デザインも  使いよう

新規デザインや変更など、ご相談を

宇那木デザイン室 42期 宇那木 孝俊

<https://unagi-design.com/>

昭和59年卒

明治十一年創業
中島病院

五代目 中島 弘文

〒08-0052
津山市田町122
電話(0868)22-8251
g-naka@ra3.so-net.ne.jp

平成3年卒

宇宙一おせっかいな
IT/DXコンサルです

43期 日下康幸
アストロラボ株式会社

乃木坂駅前
info@astrolab.co.jp

 YouTube
知って得する
DXに関する情報を
配信中!

備品管理クラウド
消耗品管理クラウド
差契約書クラウド

平成3年卒

この秋、県北部で国際芸術祭

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」を開催します！

◆ 9月28日(土)～11月24日(日)



「森の芸術祭 晴れの国・岡山」では、県北部の地域資源を最大限に生かし、岡山ならではの国際芸術祭を作り上げ、訪れた方に特別な体験を提供し、まだ知られていない県北部の魅力を存分に味わっていただきたいと思っています。国内外から幅広いジャンルのアーティストを迎え、アート展示とともに、来場者が参加できる様々なイベントをご用意し、多くの皆様の森の芸術祭へのご来場をお待ちしています。

開催概要

- 開催エリア | 岡山県北部12市町村
- アートディレクター | 長谷川祐子(金沢21世紀美術館 館長)
- 主催 | 「森の芸術祭 晴れの国・岡山」実行委員会
- 作品展示エリア |
 - ①津山／津山城周辺エリア
 - ③奈義／奈義町現代美術館周辺エリア
 - ⑤真庭／蒜山エリア
 - ②津山／グリーンヒルズ津山
 - ④新見／満奇洞・井倉洞エリア
 - ⑥鏡野／奥津エリア

アート作品設置会場(一部抜粋)

①津山／津山城周辺エリア

作州民芸館

衆楽園

城西浪漫館

城東むかし町家

津山まなびの鉄道館

PORT ART & DESIGN TSUYAMA



参加アーティスト

現在、クリスタルや植物を使った化学反応による作品などを中心に活動制作するピアンカ・ボンディさん、食をテーマとするリクリット・ティラヴァニさん、華道家の片桐功敦さんなど、国内外で活躍する35組の参加が決まっています。詳しくは公式Webサイトをご覧ください。



公式Webサイト

※この原稿は3月末に作成したものであり、内容が変更になる場合があります。最新の情報は公式Webサイトからご覧ください。

サポート(ボランティア)スタッフの募集

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」では、サポートスタッフを募集しています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

- 募集期間 10月31日(木)まで
- 活動期間 夏頃～11月24日(日)
- 問い合わせ

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」運営スタッフ事務局
TEL 050-1807-7050(土日祝を除く10:00～17:00)



応募フォーム

restaurant
petale de sakura

代表取締役 / オーナーシェフ
フードプロデューサー
難波 秀行
Hideyuki Namba
namba@petaledesakura.com

レストラン ベタルドゥ サクラ
株式会社 さくら喫茶
〒245-0008 横浜市泉区弥生台5-2
Tel.045-443-5876
Fax 難波キッチン直通電話 Tel.045-443-5874
www.petaledesakura.com

株式会社 **すえ木工**

■ 本社・家具事業部
〒708-0861 岡山県津山市八出 244-1
TEL 0868-23-4481 / FAX 23-4483
■ RIM 事業部

luumu
suemokko

■ Luumu suemokko (ルクム すえ木工)
〒107-0062 東京都港区南青山 6丁目 1-21
ヒロティ南青山 203
Mail: suemokko@suemokko.co.jp

SUEMOKKO

ロイド・ABS・NK・CCS・DNV/GL 船級認定工場
鋳造・木型・熟処理・機械加工

株式会社 光岡製信所
代表取締役 **光岡 宏文**
Hirofumi Mitsuoka
(鋳造技士) (UT-LEVEL 2)

[本社工場] 〒708-0857 Tel: (0868) 26-0145
岡山県津山市福力16 Fax: (0868) 26-5029
U R L : <http://www.mitsuoka.co.jp>
E-Mail : hirofumi@mitsuoka.co.jp
mobil : 090-8719-3406

2023年度津山高校同窓会総会が開催されました

令和5年度は「再始動」のスローガンを掲げ、8月12日(土)にザ・シロヤマテラス津山別邸にて津山高校同窓会総会と、続く懇親会を開催致しました。

新型コロナウイルスの影響により実に3年ぶりの飲食を伴う懇親会の開催ということで、当日は過去3年間の想いをしっかりと繋げていけるような会にできたのではないかと考えています。

懇親会はオープニングムービーの上映、書道パフォーマンスの披露、プロミュージシャンとして活躍中の同期メンバーによる生演奏や、

和っしょい!津山の演舞を行い、総勢150名を超える会場中の方々が次々とステージに集まって一緒に会場を盛り上げてくださいました。

今年「再始動」した同窓会が、今後益々盛大に開催され、津山高校の絆が益々発展していきますことを祈念申し上げます。

(廣田勤,平11卒)



2024年度津山高校全体同窓会・懇親会@津山のご案内

- 日時：2024年8月11日(日)
総会：午後1時から、懇親会：午後2時から
- 会場：ザ・シロヤマテラス津山別邸 (津山市山下30-1)
- 会費：1万円 (電子決済及び銀行振込の場合は9,500円)
協力金：一口 3,000円～
振込口座：中国銀行 津山市役所支店 普通 2511369
参加申込：下のQRコードから参加費の支払いをお願いします。
当日現金払いを希望される方も、「予約のみ」を選択してご入力ください。
問い合わせ先：51th.class.reunion@gmail.com



会費及び協力金
支払決済金QRコード

東京作州会のご案内

東京作州会(頃安健司会長)は、令和元年11月、東海大学同窓会館において、来賓に谷口圭三津山市長をお迎えして第1回総会が開催されました。この会の目的は、東京及びその近郊にお住いの美作地域出身者相互の親睦を図るとともに、郷土岡山及び美作の発展に寄与することにあります。その後、コロナ禍のため、3年間、総会を開催することが出来ませんでした。昨年(令和5年)12月9日に、アルカディア市ヶ谷において第2回会合を開催し、今後の会の運営について話し合うなど、懇親を深めたところがあります。本年も秋ごろの開催を予定しております。東京作州会の発展のため、皆様のご協力をお願いいたします。入会ご希望の方は下記へご連絡ください。

kensumida@jcom.home.ne.jp;(隅田憲平,昭31卒)

2024『津山芸術文化博』事業 保田扶佐子美術館設立15周年記念 「保田扶佐子アンソロジー展 -抽象美術への誘い-」のご案内

保田扶佐子さん(昭36卒)は、岡山大学卒業後、スペインバルセロナを拠点に活動している、日本とバルセロナの架け橋的アーティストです。

- 日時：2024年7月28日(日)～8月11日(日) 10:00～17:00
- 会場：津山文化センター[木曜日休館]

https://www.facebook.com/fusakoyasudamuseum/?locale=ja_JP

木村 克朗(昭35卒・京都芸術大学客員教授)個展 「創造のよろこび -作品集出版記念-」のご案内

- 日時：2024年9月23日(月・振休)～28日(土)
- 会場：銀座スルガ台画廊[日曜日休廊]

代表取締役社長
若山 圭介

本社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-23-1
TK新都心ビル 10F
TEL 03-5909-7145
FAX 03-5909-7146
E-mail:k.wakayama@wprosp.co.jp

SOEIホールディングス株式会社
双栄基礎工業株式会社
<http://soei.tokyo/>

平成5年卒

CREATIVE WEB
株式会社クリエイティブ・ウェブ

代表取締役
岡部 倫典
Michinori Okabe

本社
大阪市淀川区東三国2-37-10 EIDAI BLD.9階
<https://www.creative-web.co.jp>

イイセレクト
不動産物件管理システム

平成6年卒

明治24年以來の歴史を刻む岡山県出身者の寮

- 冷暖房完備、広い個室、スポーツ施設併設
- 2食付で安い寮費など、学生生活環境が整っています

公益財団法人 **鶴山館**

〒202-0013
東京都西東京市中町 5-10-8
☎ 042-422-5951



関東同窓会役員・常任委員一覧

会 長	中島 純三(昭42卒)	副会長	芦田 将 (昭61卒)	顧 問	片岡廣治郎(昭35卒)	総務担当委員	松田 匡司(昭54卒)
共同会長	日下 康幸(平4卒)	副会長	日下ゆりあ(平3卒)	顧 問	増田 美子(昭37卒)	総務担当委員	河本 倫子(昭54卒)
副会長	三村優美子(昭44卒)	副会長	小谷 匠平(平11卒)	総務担当委員	堀内 慎一(昭42卒)	総務担当委員	國井美由紀(平4卒)
副会長	水田 潤子(昭46卒)	副会長	宮島 聡子(平14卒)	総務担当委員	植月 雅文(昭46卒)	総務担当委員	岡本 佳之(平7卒)
副会長・事務局長	山本 大 (昭49卒)	監 事	赤木 省三(昭41卒)	総務担当委員	永松 呉葉(昭48卒)	総務担当委員	垣内 真悟(平31卒)
副会長	神橋 一彦(昭58卒)	監 事	檜尾 守昭(昭46卒)	総務担当委員	山田 雅義(昭50卒)		

卒業年	氏名
昭 18	高橋 孜子
昭 22	浮田 裕之
昭 22	福井 富枝
昭 26	小賀 由章
昭 27	久本 昌夫
昭 28	三宅 寛子
昭 29	原 光穂
昭 29	安藤 美恵子
昭 30	金築 順子
昭 31	白岩 良一
昭 31	大谷 昌子
昭 32	友保 隆晴
昭 33	柿内 扶仁子
昭 34	奥田 恭彦
昭 35	馬場 史郎
昭 36	近藤 達也
昭 36	佐桑 慎二
昭 36	山口 智恵
昭 37	斎藤 正子
昭 37	黒田 悦司

卒業年	氏名
昭 37	大森 慎
昭 37	山本 茂樹
昭 37	泉 昭正
昭 38	澤谷 豊
昭 39	衣笠 一成
昭 39	安藤 淑子
昭 40	草地 八寿郎
昭 41	佐田 通明
昭 41	蒔田 かをる
昭 42	安藤 三男
昭 42	天池 恵
昭 43	神家 康博
昭 44	栗 二公雄
昭 45	木多 務
昭 45	福田 正志
昭 45	高畠 範真
昭 46	井家上 進
昭 46	大河原 優子
昭 47	有吉 啓子
昭 47	原 雅彦

卒業年	氏名
昭 47	谷岡 宏
昭 48	菱川 英章
昭 49	林 敏彦
昭 49	松下 いづみ
昭 49	吉田 瑞子
昭 49	沼本 学
昭 49	野々上 尚
昭 50	田和 一樹
昭 51	佐竹 康宏
昭 51	岡田 恵子
昭 52	角南 元司
昭 53	阿部 達彦
昭 53	山口 ゆりか
昭 54	河本 倫子
昭 55	内田 達也
昭 56	山本 進
昭 56	石田 徳子
昭 56	久保 明美
昭 57	照尾 彰教
昭 57	杉原 隆世

卒業年	氏名
昭 58	後藤 かおり
昭 59	安田 明弘
昭 59	片山 政周
昭 60	枝並 輝之
昭 60	山本 敏伸
昭 61	黒田 俊恵
昭 62	岡野 洋士
昭 62	谷口 太郎
昭 63	小山 将良
昭 63	繁定 正典
平 2	中西 孝
平 3	谷口 聡
平 3	宇那木 孝俊
平 4	花村 浩二
平 4	坂本 匡史
平 4	北山 栄美
平 5	徳田 泰二
平 5	久常 健
平 5	磯田 暁男
平 5	山縣 政宏

卒業年	氏名
平 6	若山 圭介
平 6	春名 伸昭
平 7	山下 弘展
平 7	小堀 さとみ
平 7	武藤 由紀恵
平 7	森 亜矢子
平 8	吉田 夕紀
平 8	松本 有希
平 8	内田 択実
平 9	山口 陽平
平 9	小谷 洋輔
平 11	内田 彰彦
平 22	西本 卓司
平 26	日笠 比咲子
平 28	藤田 太郎
平 28	石村 遼太
平 31	甲元 昌也
令 2	松田 侑大
令 4	岡田 怜也
令 4	神谷 健太

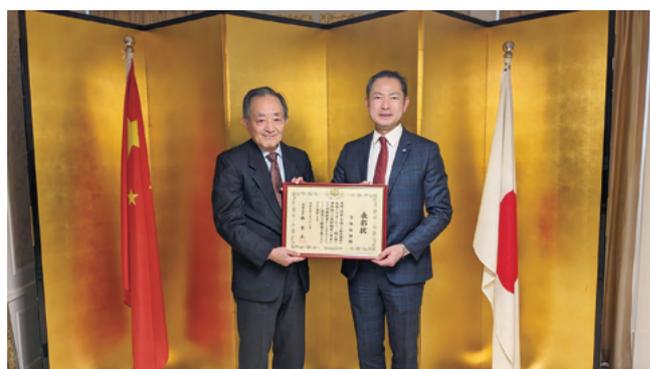
(2024年6月現在)

- 常任委員ご不在の年度の方は、早急に常任委員を決定しご連絡ください。
- 同期の方の住所等についての問い合わせや住所変更などの連絡は、事務局へお願いします。

古林恒雄氏 外務大臣表彰受賞

本紙創刊号「OBにこの人あり」で登場の古林恒雄氏(昭36卒・上海在住)が、40年にわたって日中の友好親善に多大なる貢献をしたことで2023年度外務大臣表彰を受賞されました。
(近藤達也・昭36卒)

▶写真は古林氏(左)と赤松秀一総領事・大使(右)



ホームページにバナー広告を掲載できるようになります。

ビジネス拡大や採用活動に役立ててみませんか?

20,000ページビュー突破

ホームページで情報更新できるようになりました

露出度が今年からまたまたアップします。

- 住所など同窓会の登録情報の変更が自分で行えるようになりました。
- 会員限定の情報もありますのでログインしてみてください。
- ログインは同梱の支払い用紙にあるIDと仮パスワードをお願いします。
- すでに登録している方は登録したメールアドレスとパスワードでログインしてください。

QRコードから閲覧出来ます



URL <https://tsukou-kanto.com/>



謹んでお悔やみ申し上げます

2023年3月から2024年2月までに文書でお知らせのあった方のみを掲載しています

昭和15年卒 阿部 純子様
昭和17年卒 服部 要様

昭和19年卒 岸本三枝子様
昭和24年卒 石黒 清介様

昭和26年卒 高原 二郎様
昭和27年卒 伊東 順子様

昭和29年卒 松本 良子様
昭和30年卒 山部美知子様

昭和43年卒 土谷 博子様



新入生歓迎の集いが開かれました

昨年に引き続き、今年も6月9日(日)15時から、2024年春に津山から関東圏に出てきた皆さんを対象に、津山高校関東同窓会の新人歓迎会が開催されました。ホームページに記載のとおり、学生・新社会人を対象にした新人歓迎会をOBゆかりの会場で開催しました。2024年卒の2人を含む学生15名と、社会人25名の合わせて40名の盛会となりました。初参加の方や遠くは群馬から参加の方などと、二次会、三次会と大変盛り上がりました。会費に寄付頂いたOBOGの方には改めて御礼申し上げます。



2024年度関東同窓会総会・懇親会@東京のご案内

下記の通り開催いたしますので、お誘いあわせの上ご参加ください。

- 日時：2024年9月7日(土)12時より
- 会場：東京大神宮マツヤサロン
〒102-0071 東京都千代田区富士見2-4-1
TEL.03-3234-6611
- 会費：8,000円 学生無料

津山高校関東同窓会ゴルフ部活動しています！

興味のある方は日下康幸(平4卒)に
メッセージあるいは
LINE(ID:navitime)に
連絡をお願いいたします。



同窓会費納入のお願い

本同窓会は皆様が納入してくださった会費で運営されております。会費納入をしてくださりました同窓生の皆様に感謝するとともに、本会が安定した運営ができますよう会費の納入を今後もお願いいたします。また、多くの方々から活動支援金のご寄付もいただいております。今年も皆様の温かいご支援をお願いいたします。



関東同窓会だよりの広告募集

関東同窓会だより10号の広告を募集いたします。皆様からの協賛をお待ちしております。

- サイズ：横6.2cm×縦3.8cm
- 協賛金：一口5,000円
- 申し込み締め切り：2024年12月31日
- 申し込み先：事務局 TEL 080-9985-8892

作品展への出品のお願い

恒例の総会会場での作品展を今年も開催します。絵画・書画・陶器・写真等、皆様の出品をお待ちしております。

- 作品サイズ
絵画：10号程度まで 書画：軸装または半切程度
陶器：5点位まで
- 申し込み締め切り：2024年8月15日
※詳しくは事務局までお問い合わせください。

編集

後記

水田潤子前委員長の後をうけまして、本年度から編集委員長をお引き受けいたしました。関東同窓会の会員の皆様との交流の場として、充実した紙面にできればと存じます。ご協力、ご助言をいただければ幸いです。よろしくお願いたします。

(2024.6.神橋一彦)

<編集委員>

編集委員長：神橋一彦(昭58卒)

編集委員：堀内慎一(昭42卒) 植月雅文(昭46卒) 水田潤子(昭46卒) 永松呉葉(昭48卒) 山本大(昭49卒) 松田匡司(昭54卒)

河本倫子(昭54卒) 日下ゆりあ(平3卒) 國井美由紀(平4卒) 小谷匠平(平11卒) 宮島聡子(平14卒) 松田侑大(令2卒)

オブザーバー：片岡廣治郎(昭35卒) 増田美子(昭37卒) 三村優美子(昭44卒) 芦田将(昭61卒) 日下康幸(平4卒) 和田有希(平22卒)

表紙題字：光井一輝(平27卒)

津山高校関東同窓会だより 第9号2024年 発行人 中島純三